

## 修学旅行目前！！

(修学旅行のしおりから)

みなさんご存じのとおり、かつて京都には都が置かれていたので、京都の言葉は標準語として使われ、各地の言葉にも影響を与えました。現在の京言葉は幕末から明治維新にかけて普及されたといわれています。「～どす」「～やす」「～はる」をはじめ、「いらっしやいませ」を「おこしやす」、「ごめんなさい」を「堪忍しとくれやすな」、「どういたしまして」を「よろしゅうおあがり」など、TVで一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか…。

一方、奈良の言葉は、こちらも古代の日本の中心地でもあり、特に奈良盆地の人々は自負心とともに「大和言葉にさん打つな」(大和言葉にケチをつけるな)とか「大和言葉に訛りなし」などということわざが伝えられてきました。私たちが聞きなれない言葉としては「おとろしい」(面倒くさい)とか「ねき」(そば, 近く), 「あのみい」(あのね)など調べると興味深い言葉がたくさんあります。

前書きがながくなりました。今年のスローガンは『そうだ、京都で学ぼう～友情・歴史・和の極み～』というものです。私は特に「友情」のフレーズを大切にしてほしいと思っています。ふだん気づかなかった級友の活躍ぶりを、班活動や係活動などで一つでも多く見つけて欲しいと思います。意外な一面も…。

最後に宿題を一つ。「ぶぶ漬け」は京都でお茶漬けのことですが、京都で他人の家を訪問した時に、この「ぶぶ漬け」を勧められたらあなたはどうしますか？



スポーツテストの様子

